

## いきいき市民活動情報

入東谷活性化プロジェクトから、おすすめのイベントに関する情報が寄せられました。

については、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ長岡市民の「市民力」や「地域力」を生かした活動を、貴社で取材くださいますようお願いいたします。

標 題	<b>長岡と魚沼そして人を結ぶ 石峠街道再開通式を開催</b>
日 時	11月8日（金）午前10時～11時20分（予定）
場 所	栗山沢地区センター（長岡市栗山沢）
内 容	<p><b>1 イベントの主旨</b> かつては、人・もの・情報が行き交い、地域の暮らしを支えた峠道「石峠街道<sup>*1</sup>」が、長岡市と魚沼市、それぞれの地域住民の力で旧街道や城跡周辺などの整備を進めてきたことにより、このたび、再開通しました。今後、市民はもとより市外県外の多くの人にも、この街道の豊かな自然と歴史に親しんでいただくための発表の機会として、記念式典を開催します。</p>  <p style="text-align: center;">▲整備作業の様子</p> <p><b>2 主催</b> 「石峠街道再開通式実行委員会<sup>*2</sup>」</p> <p><b>3 内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・式典、テープカット</li><li>・「入東谷の四季」鑑賞会</li><li>・石峠に関わる講話、民話 新潟県文化財保護連盟理事 石田 哲彌 様 長岡市文化財保護審議会委員 鳴海 忠夫 様 ほか</li></ul> <p><b>4 出席者 約40人</b></p> <p><b>※1 石峠街道の概要</b> 石峠街道は、長岡市（栃尾・松尾）と魚沼市（守門・高倉）を結び、標高300m～530m程度の高さで、峠道の延長は約7km。古くは鎌倉時代から庶民の経済交流の道として、また戦国時代には重要な軍事的役割を持つ峠道であった。魚沼市では「旧石峠街道」を市の史跡文化財として指定している。</p> <p><b>※2 石峠街道再開通式実行委員会</b> 石峠街道の整備・保存に取り組む両市の各地域団体で構成</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・入東谷活性化プロジェクト（長岡市栃尾地域）</li><li>・魚沼石峠歴史街道保存会（魚沼市）</li></ul>
問 い 合 わせ	入東谷活性化プロジェクト 井田
情 報 提 供 課 名	栃尾支所地域振興課 多田 電話0258-52-5815

# 石峠街道の概要



Ishi-fuge

石峠街道は、長岡市(枋尾・松尾)と魚沼市(守門・高倉)を結び、標高300m～530m程の高さで峠道の延長は約7kmです。古く中世期から庶民の経済交流の道として、また戦国時代には重要な軍事的役割を持つ峠道でした。のちに近代、車道が敷かれトンネル整備も進められ、街道の果たす役割は薄れ、集落の道普請も途絶え、永く不通の状態が続いていました。魚沼市では「旧石峠街道」を市の史跡文化財に指定して保存に努めています。



2024(令和6)年の秋に大石の「石峠街道歴史案内図」(写真上)設置と魚沼市高倉地内の国道290号沿いの「旧石峠街道」案内看板(写真下)が改裝されました。



大石から300m左にある「石峠塚」

「旧石峠街道」の歴史を伝える「石峠街道歴史案内図」の設置の様子



入東谷活性化プロジェクトの作業の様子。



魚沼市歴史街道保存会の作業の様子。



2023(令和5)年11月12日に「入東谷活性化プロジェクト」と「魚沼市歴史街道保存会」のそれぞれメンバーが参加して行われた「暫定接続式」の様子。



## 長岡と魚沼の歴史を偲ぶ 石峠街道再開通式

2024(令和6)年11月8日

入東谷活性化プロジェクト  
魚沼市歴史街道保存会

祝 石峠街道再開通式典 実行委員会

入東谷活性化プロジェクト  
魚沼市歴史街道保存会

# 祝

## 石峠街道再開通式典 次第

式典 10:00～

### 1 開式あいさつ

主催者代表 実行委員長  
入東谷治 活性化プロジェクト代表 諸橋 昇一

### 2 祝再開通(テープカット)

3 乾杯  
魚沼市教育長 樋口 健一 様

### 4 祝辞

長岡市長代理(地域振興戦略部長) 大矢 芳彦 様  
魚沼市長代理(北部事務所長) 磯部 篤子 様

### 5 長岡側石峠周辺VTR鑑賞

### 6 石峠講話

新潟県文化財保護連盟理事 石田 哲彌 様  
長岡市文化財保護審議会委員 鳴海 忠夫 様

### 7 石峠民話

栃尾炉端会 土田 ムツミ 様  
魚沼昔ばなしの会 小岩 久美子 様

### 8 閉式あいさつ

副実行委員長 大竹 文也 様  
魚沼石峠歴史街道保存会長

※記念集合写真撮影

解散予定 11:20

## 石峠“再開通”までの両市の整備活動のあらまし

### 【長岡市(栃尾)側】

石峠街道の名前の由来となっている大石周辺は自然木が大木となり、周辺展望がほとんどできない状態でしたが、平成29年度より長岡市や観光協会等の支援を受けながら「人東谷活性化プロジェクト」が松尾集落からの旧街道と大石及び石峠城址周辺までの整備を計画的に進めてきました。今年度は、大石周辺の大木伐採整備と魚沼市との境界までの街道整備を完了するに至りました。

この間、毎年1回地域の皆さんに「自然豊かな古道“石峠トレッキングツアー”」への参加を呼び掛け、石峠を内外にアピールする事業として活動を継続しています。

### 【魚沼市(守門)側】

約20年間石峠街道の整備が滞り、草や雑木が生え茂り、人が歩ける状態ではなくなっていました。数年前から地元の人一人がもくもくと整備を手掛けていました。長岡側の整備が進んでいくことから「長岡側のプロジェクト」との連携で石峠街道を全線再開通をさせよう」という話に賛同者が増え、令和5年度から「魚沼歴史街道保存会」を設立し、新潟県をはじめ魚沼市及び市教育委員会等の関係機関の指導と協力をいただきながら精力的な整備が進み、このほど長岡側と魚沼側の石峠街道が全線再開通するに至りました。今後も”歴史散策ツアー”のコースとして活用できるよう保存活動を継続することとしています。



(.....部分は令和7年度中に完了予定)